



ベトナムのテトと日本のお正月

ツオン ジイ ヴィン
TRUONG DUY VINH

アジア各国と同じ様に私の国ベトナムにも旧正月があります。ベトナム語でテトと言います。私はベトナムのテトと日本のお正月を経験していますので、その違いについて書きたいと思います。

テトはベトナム人にとって一年で一番大切な日です。家族と共に過ごす事が一番の幸せで、年末は仕事が終わった後すぐに故郷に向かって帰ります。

テトで欠かせない食べ物はバンツーンです。バンツーンは餅米で出来た皮にグリーン豆と豚肉を入れ、それを緑葉で包みます。煮る時間が半日掛かりますが美味しい伝統的な食べ物です。日本でもお正月にお餅を食べます。餅つきに参加してつきたてのお餅を食べましたが、とても美味しかったのを覚えています。

送旧迎新の習慣は新年を迎える為年末に家や庭を掃除したり、仏壇を飾ったりします。そして近所の人達と村の神社やお寺を掃除して飾ります。日本でも年末に大掃除をしますが、その時だけお父さんが手伝うそうですね。ベトナムでは普段から家族全員で掃除をするものです。

新芽を採る・祝寿の習慣は、新年に金運、健康と昇進を期待する為お寺や神社の周りの芽がいっぱい出ている枝を採ります。日本ではお賽銭で神様をお願いするのですが、お賽銭という風習はベトナムにはないのでもったいない感じ

がしました。テトの時、子供達はお年寄りに対して感謝し長寿をお祝いします。一方親は子供に少しでもお金をあげてお祝いします。いわゆるお年玉です。日本の子供は沢山もらっているのに驚きました。私も日本人に産まれたかったです。

家訪問・お祝の習慣は元日最初に訪問される人がとても大事な人です。偉い人や尊敬する人に訪問してもらいます。新年の良い事を任せ、何か起こったらその人のせいになります。テトはいつもお世話になっている人にプレゼントを贈る良い機会です。両親や先生・上司にプレゼントを送ります。新年の挨拶を詩でお祝いする人も多いです。日本でもおめでとうと言いますが、あまり心がこもっていないようです。

ベトナムの旧正月は春の初めていい天候です。人間も自然に溶けて新しい気持ちを持って進めたい気分になります。何事もこの日を選んでスタートする人が多いです。新年に開業の日はいつも活気良くし今年も頑張りたいという意志を表します。そして安定した社会と良い人生に向かうと考えます。

最後に来年二度目の正月を日本で過ごすことになります。家族と離れ少し寂しいですが日本のお正月も好きなので、仲間とお餅を食べたり、初詣に行ったりと楽しみたいと思います。

・区 分 研修生
・国 籍 ベトナム
・職 種 自動車開発
・受入れ企業 株式会社日産テクノ